

# 『かねしまっ子』

令和5年 7月19日(木)

発行者 校長 田中 祐二

## ◆大雨被害のお見舞いと保護者引き渡しのお礼

7月に入り、例年以上の大雨に見舞われ、本校も本年度はこれまで3回、避難所となりました。3回目の7月10日には、久留米市にも線状降水帯が発生し、東部地区を中心に大きな被害がありました。東部の学校によっては、土石流、校舎内の床上浸水などにより、復旧までにはかなりの日数を要しているところもあります。今回、被害に遭われた方には心よりお見舞い申しあげます。また、2日連続の臨時休校となり、保護者の皆様には何かとご迷惑をおかけしたところもあったかと思いますが、校区内や学校内の状況をもとに北野中校区の全小・中学校で協議し、いろいろな場面を想定し、お子さんの安全確保を第一に考えたうえでの対応でした。どうか、ご理解いただきますようお願い申しあげます。

さて、2回目となった7月3日は、当日の早朝に、教育委員会から、児童の登校時の注意喚起及び避難所開設に伴う臨時下校の準備の指示の連絡が入りました。その後、本校も10時に避難所が開設されることになりましたが、さすがに、強い雨の中、頑張って登校してきた子どもたちを10時に下校させるのはどうかと考える、町内の4小学校と協議し、教育委員会にも確認を取って、給食後下校とすることにしました。

次に、集団下校とするか、保護者引き渡しにするかですが、本校は、当初、その日の午後に講演会、学級懇談会を予定していましたが、保護者は休みを取ってある方が多いと考えられることから、保護者引き渡しとすることにしました。午後から天気が回復していくという予報もありましたが、梅雨の時期はまだまだ続き、今後も、大雨が予想されることから、この機会に一度、引き渡しを経験しておくことも必要なのではないかという意図もありました。



さて、引き渡しに際しまして、保護者の皆様方に迅速なご対応していただいたことに対し、深く感謝申しあげます。引き渡し開始から完了まで35分でした。時間的には、想定した範囲に近かったのですが、途中、ピーク時に、道路まで一部渋滞となってしまったことなど反省すべき点がいくつか判明しました。それにより、お待たせする時間が長くなってしまったことをお詫びいたします。その後、職員で原因と対策について話し合い、この反省を生かし、いくつか修正した形で次からは臨む予定です（確実に引き渡しを行うために、保護者の方の動きは変わりません）。もちろん、ないにこしたことはありませんが、今後、引き渡しを実施される状況となった場合には、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

## ★思い出に残る有意義な夏休みに★

夏休みに入ります。2学期の始業式の日には、全員の子どもたちが元気に登校し、思い出を語ってくれることを楽しみにしています。そのために、健康、安全に十分留意し、規則正しい生活を送れるよう、ご家庭でもお声かけをよろしくお願い致します。